

# 丘の学校 学校運営委員会だより

令和8年2月19日  
富士の学び舎  
世田谷区立多聞小学校  
学校運営委員会  
NO. 10

## 【第10回 学校運営委員会報告】

1 開催日時 令和8年2月19日（木）

出席者：河野寛、小泉玲子、川田英明、菅野義英、清家政巳、  
川村陽子、大角恵里、平間学  
学校関係者評価委員長：中村徳子様 事務局：長田尚子

## 2 議事録

### (1) 学校運営委員長挨拶

花粉が飛んできましたね。私は花粉症に悩まされている一人ですが、きれい過ぎる環境で過ごしていると、逆に病原菌に反応しやすくなるという説もあります。「衛生仮説」というのですが、あまりきれいに育つとよくないので、免疫力向上のために雑菌に触れる機会を少しずつ作っていく必要があると思っています。年度が終わりに迫ってきて、学校も総仕上げに入っていると思いますが、このまま、大きな事故等がなく進めたらよいと思います。今月もどうぞよろしくお願いします。

### (2) 校長挨拶

学校ではインフルエンザが増え、学級閉鎖が2学級ありました。連休明けの様子が心配であります。学校では年度末に向けて高学年ではカウントダウンのカレンダーを作ったり、1年生の教室では、6年生を送る会の準備、入学式の準備、幼稚園保育園の園児の学校訪問の準備をしたりといった学年末の状況です。先日の学校公開では、多くの保護者に参観していただきました。城南環境学習支援グループの七輪体験と昔遊び、障がい者サッカー体験、環境出前授業と様々な体験活動を行いました。

### (3) 学校関係者評価委員会からの報告 学校関係者評価委員長 昭和女子大学教授 中村 徳子 様より

今年度の大きな成果として、教員の信頼と情報発信の充実という点が挙げられます。児童アンケートでは、「先生の授業が分かりやすく丁寧に指導してくれている」との回答が多く寄せられました。保護者アンケートからは、学校だよりやPTAとの共催の「たもラジ」などを通じた情報発信、学校公開による透明性の高さが95%を超える高い評価を得ています。また、今年度新たに開催された学習発表会、地域主催の「たもんこどもまつり」も、学校と地域が一体となった取組として好評でした。

今後の課題としては、児童・保護者両方から挙がっていた読書習慣・活字離れ、自発的な学習習慣の不足が指摘されています。また、家庭への相談率は非常に高かったのですが、学校内で悩みを相談しにくいと感じている児童がある程度存在すること、ある程度の児童は相談できているかもしれませんが、相談できていないと感じる児童が一定数いることを真摯に受け止めていく必要があると感じます。

次年度に向けた提案としては、3点挙げられます。

- ①読書及び学習習慣の育成…家庭と連携して活字に親しむ機会の確保と自己管理能力の育成
- ②相談体制の充実…学校全体で児童の悩みを受け止められるような、より安心できる環境づくり
- ③地域連携のより深い結びつき…地域人材をさらに教育活動に取り入れ、地域とともにある学校の推進  
次年度の教育活動で意識的に取り組んでいただきたいと思います。

<委員長より> 3点挙げていただきましたが、1点目の読書習慣はとても大切だと思いました。学校で音読をしますが、研究データ的には、黙読かつ頭の中で音読をしない「非内声化」という読み方があるのですが、これを行うと、成績が上がるというデータもあるので、もしチャレンジな先生がいたら、研究してみることでパイロットスタディー的に広げていけるのではないかと思います。2点目の安心できる相談体制としては、来年度の経営方針にもあるように、「居場所がある」ということについて助けになるだろうと思いました。3点目は、僕から見ると多聞小はすごく地域との結びつきは強いと感じているのですが、より強化していただきたいということで、私が協力できることがあれば行っていきたいと思っています。それ以外にも現場の小さな声を今後吸収していけたらよいと思います。ありがとうございました。

### (3) 校長より

#### ① 学校行事などの報告

- ・1月27日（火）の学校協議会は、地域の方とそれぞれの行事を中心に情報共有を行う機会となりました。
- ・1月30日（金）に3年生が消防署見学で三宿出張所に行ってきました。

・2月13・14日と学校公開がありました。3年生は学級閉鎖が1学級あり、予定していた七輪体験ができませんでしたので、その学級だけ後日体験するよう調整しています。

・2月18日（水）、5年生の音楽鑑賞教室では東京フィルハーモニー交響楽団による生演奏を聴きました。

【今後の主な予定】（2月末から3月末日まで）

2/27（金）6年生を送る会、28（土）池尻子どもマラソン

3/13（金）学校運営委員会、23（月）お別れの会、24（火）修了式、25（水）第93回卒業式

②令和8年度の学校経営方針（案）vol.2 ※資料を基に説明

③ 学校運営協議会について ※進捗及び今後の見通しを報告

### （3）意見交換（一部抜粋）

小泉： 学校関係者評価委員会の報告の中に「たもんこどもまつり」を皆さんが喜んでくれていたとあり、とても嬉しく、やって良かったと思いました。今年度は準備を秋頃から始めたので、次年度から、もっと早めに動き出して駒場学園や昭和女子大学のボランティアサークルにも呼び掛け、より多くのお子さんや地域の方みんなで楽しめる方法を計画していきたいです。代沢地区委員会企画の「富士フェス」の申し込みは、近隣小学校の中で多聞小のおさんが最も多くエントリーしてくれているとのことでした。

川田： 読書習慣の話がありましたが、子どもたちを見ていると家では本を開いている姿を見ないですね。音読をしている姿は見ますが、スマホばかり見ていてそちらに夢中な様子です。環境的にも読書に親しむ機会が減っていると感じます。学校経営方針に、「凡事徹底」という言葉がありますが、とてもいいですね。私も好きな言葉です。当たり前のことを確実に行うことは大切なことだと思います。学校公開で授業の様子を参観しました。我が子を中心に見ていたので、体育館で行われていたキャリア教育を見なかったです。外側からしか見れませんでした。面白そうなイベントでした。

清家： 下級生の特に一年生の成長ぶりがすごいですね。いつも元気よく挨拶をしてくれます。それ以外の会話や関わりもあり、いつも元気と笑顔をもらっています。読書習慣については、学校にいるときだけの読書ではなくて、家庭の中で朝に夕に読めるようにはたらきかけてもらえたらと思います。3月1日に地域の三丁目公園でもちつき大会がありますので、たくさんのおさんが参加してくれたら嬉しいです。

大角： 学校公開の6年生のキャリア教育に参加しました。第一部の「トークフォークダンス」では、一対一で目の前の6年生と1分間話すというもので、その場でお題を出されるので準備した答えではなく、しっかり相手の話を受け止めながら話す中で、その子の素の部分が見えて面白かったです。第二部では、仕事について紹介する側として夫が参加しました。子どもたちがすごく鋭い質問をすることにびっくりしていて、自分が聞こうと決めて考えてきた質問が多かったようで、将来のことを考えるきっかけになるよい取組だと思いました。大人の募集の際に6年生の保護者以外にも呼び掛けがあり、学校のみならず盛り上げていこうという感じがして、ありがたいなと思いました。

川村： 年度の終わりが近付き、みんなの成長が目覚ましい時期だと思っています。新しい学年への期待をもちたり積極的にそれを感じたり、逆に不安でざわざわしてしまう子どもたちがいる時期であると毎年思います。学校経営方針にもある居場所については、学校にいる大人として、子どもが声を掛けやすい大人でいたいと思っているので、小さな変化やいつもと違うなという状態を細かく見ていける存在でありたいと思います。

河野： 全体を通して読書についての話題が多かったですが、最近進化人類学という分野の本を読んでいます。人は遺伝と環境で決まっていくそうです。我々ができることは環境の部分です。多様性とと言われる中で、ふさぎ込まないような居場所づくりをすることは大切ですが、常に居心地のよい環境に身を置くことは大人になるとありえないので、気持ちの振幅を増やしてあげると感受性が豊かな子どもたちが育つのだろうと思います。その波のある刺激を受けると嫌々となる子もいると思いますが、それはその子の特性なので、学校は自然とそれに適応していると思っています。環境ついでに言うと、僕の場合は子どもに読んでほしい本を目に付くところに置くようにしています。いろいろなことを試させてあげること、以前衝動について話をしましたが、衝動に駆り立てられるものに出会えるとハッピーかなと思います。いつそれに出会うかわからないですが、私たちにできることは、どれだけシャワーを浴びせられるかというのがポイントだと思います。ありがとうございました。